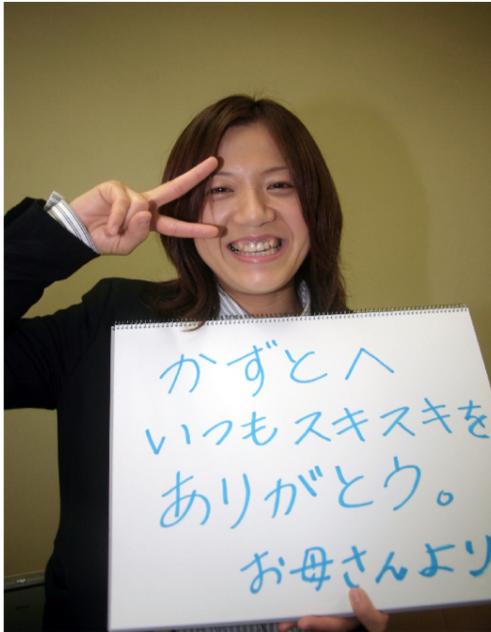


10,000人の「ありがとうカメラマン」を大募集。 あなたも「ありがとうカメラマン」になりませんか！

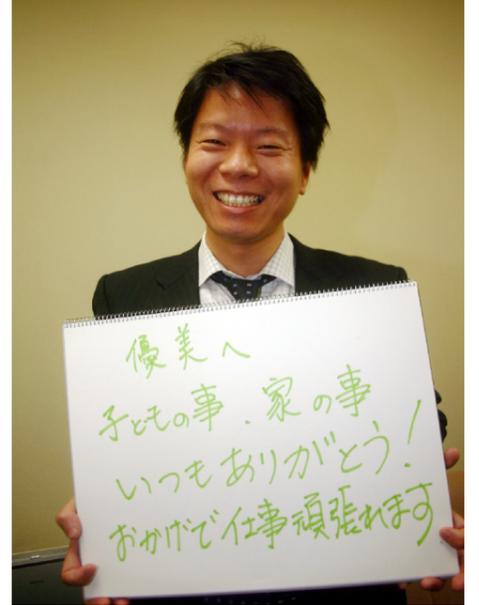


全国には「ありがとう」のこころを持っている人たちが、無限大にいます。だけど、多くの人は、そんな「ありがとう」のこころを表すことがなかなかできません。そこで、チーム 3ミニッツは、全国から 10,000人の「ありがとうカメラマン」を募集して、そんな人たちのメッセージ写真を集め発信していくことにいたしました。

「ありがとうカメラマン」は、誰でもなれます。カメラは携帯電話についているカメラでも、いまはやりのデジタル カメラでも、もちろん、フィルム カメラでもOKです。年齢制限もありません。幼稚園生でも、小 中学生でも、大人でも、おしいちゃんでもおばあちゃんでも総理大臣でも、誰でも「ありがとうカメラマン」になれます。

「ありがとうのメッセージ」を左右の写真のように書き、そのメッセージを持つあなたや家族やお友だちを写真に撮り、チーム 3ミニッツにお送りください。チーム 3ミニッツのブログに掲載して、あなたの「ありがとう」を全国に発信します。

ブログをもっている人は、自分のブログに写真とコメントをアップした後に、チーム 3ミニッツにご連絡ください。チーム 3ミニッツのブログからあなたのブログにリンクして、あなたの家族や友だちの「ありがとう」を全国に発信します。



「ありがとうカメラマン」になるには

あなたやあなたの友人や家族に「ありがとうメッセージ」を書いてもらい、その写真に氏名、住所、連絡方法（電話、ファックス、メールアドレス）、年齢を書き、チーム 3ミニッツにお送りください。その段階で、チーム 3ミニッツに「ありがとうカメラマン」として登録されます。

写真は、一度に最高 10名までお送りいただけますが、同一人物の写真は 枚（ベスト写真）だけお送りください。また、デジタル カメラのデータは jpeg形式でお送りください。インターネットができる人は、チーム 3ミニッツのホームページからお送りください。ホームページに送信方法が詳しく書かれていますが、デジタル カメラで撮影された画像はそのままきれいにブログやホームページに掲載されます。画像が荒れていないきれいな写真は、「ありがとうのはがき」を選考するとき優位になります。

「ありがとうカメラマン」になるとこんなに楽しい

「ありがとうカメラマン」になると、こんな楽しいことが待っています。

あなたの写真がチーム 3ミニッツのブログに掲載されて、全国にあなたの「ありがとうメッセージ」が発信されます。

さらに、毎月 回選考委員により選ばれた写真は「ありがとうのはがき」に印刷されて全国の子どもたち

ちに配布されます。あなたの「ありがとうのはがき」は、チーム 3ミニッツだけでなく、チーム 3ミニッツの協賛企業の「ありがとうのはがき」に採用されることもあります。

「ありがとうの写真」の著作権はあなたにあります。使用権はチーム 3ミニッツに所属します。写された人の応募許可がない写真は送らないように注意してください。



2月の「ありがとうのはがき」には、「ありがとうカメラマン」の作品がいっぱい



チーム 3ミニッツは、毎月 4種類合計 8000枚の「ありがとうのはがき」を全国に配布しています。

2月の「ありがとうのはがき」は、「ありがとうカメラマン」の作品を中心に構成しました。

左上は、千田裕 小林三保さんからみなさんへ、2番目は、大学生の木上徹也さんから家族へ、3番目は、村上典弘さんの子どもたちからパパとママへの「ありがとうメッセージ」です。

番目と2番目のはがきの右に余白がありますがこれはみなさんが「ありがとうメッセージ」を書き込む欄です。

チーム 3ミニッツは、これからも全国の「ありがとうカメラマン」の作品を集め、あなたの「ありがとうメッセージ」を伝えていきます。

ウガンダからの「ありがとうのはがき」



アフリカの中央部にウガンダ国があります。この国では内戦が続く、同じ民族同士の戦争が長く続いていました。こののはがきの作者チャールズさんは、7才のとき誘拐されて少年兵になりました。現在、彼は解放されて、新しい人生を歩んでいます。チャールズさんの「ありがとうメッセージ」はHPをご覧ください。



「ありがとうのはがき」を送ってください、そんな手紙がいっぱい届いています



「ありがとうのはがき」は、みなさんから応募された作品で毎月制作されています。

月から始まったこのプロジェクトでは「ありがとうのはがき」が欲しい人に、実費として 80円切手を 2枚送っていただければ無料で郵送するシステムをとっています。

月末日までに、事務局に届いた

た郵送希望のはがきは、事務局が予想していた数と大幅に異なりました。その数、456通。スタートしたばかりのチーム 3ミニッツ事務局は発送にてんてこ舞いでした。

なかには、「日本人が設立したカンボジアの学校の生徒に、「ありがとうのはがき」を贈りたいのですが」という手紙もありました。その学校では、なにかに感謝するとき日本語の「ありがとう」が普通に話されているそうです。

また、PTAのお母様からも、「今年の卒業生に「ありがとうのはがき」を贈りたいのでぜひ送って欲しい」という手紙もありました。

チーム 3ミニッツの「ありがとうのはがき」は、少しずつですが、社会に浸透しています。みなさん、ありがとう。

「食農教室」のスケジュール 全 7日間 (泊旅行が 2回あります)

第一回 5月3日(土)(日帰り)
開校式をした後に、田んぼで田植えをします。



芦田先生から、お米作り の授業があります。 その後、みんなで、田植えをします。 イネは、10 - 15cmの 高さ植えます 田んぼで、しりもちを つくとうなります。

第二回 6月2日(土) 22日(日) (泊)バンガローに泊まります
田んぼの雑草取りをします。その後、山には入り、山菜を採りみんなで食事を作ります。

こんな山菜が採れます。

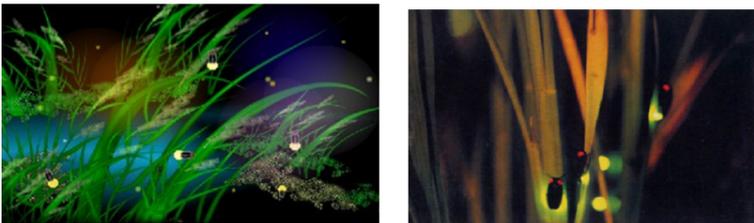


たけのこ

タラの芽

わらび

山菜の夕食が終わったら、農場の横に流れる川に、ホタルを鑑賞に行きます。



こんな景色が見られます。アップにするとホタルが光っているのがよく分かります。

翌日(22日)は、地元のおじいさんやおばあさんを訪ねてお手伝いをします。

第三回 7月20日(日)(日帰り)
田んぼの雑草取りと竹細工作り、そして、「流しそうめん」大会



田んぼの雑草取りが終わったら、竹とんぼや水鉄砲をつくります。

その後、みんなで竹を割って、「流しそうめん」をします。

第四回 8月10日(日)(日帰り)
田んぼで雑草取りとかかしづくり



田んぼで雑草をとっているとき、運がよければ、イネの花が咲くかもしれません。

雑草取りが終わったら、「かかし」をつくって、スズメから「ありがとう米」を守りましょう。

第五回 9月14日(日)-15日(祭日) (泊)バンガローに泊まります
「ありがとう米」の収穫と収穫祭。



百姓塾元塾生もペットたちもみなさんのお手伝いします。夕方からは餅つきをして、夜はキャンプファイヤーをして、「ありがとう米」が収穫できたことに感謝しましょう。翌日は、収穫したお米に感謝をこめて終了式をします。

親御様へ

子どもたちに、食べ物の栽培を通し「ありがとう」の心を育成する目的で、チーム3ミニッツの食農教室が開校します。

「いただきます」、「ごちそうさま」の食事の挨拶は、食物のいのちを「いただきます」、食物のいのちに「ごちそうさまでした」の感謝の言葉であることを、この食農体験を通して、具体的に子どもたちに伝えたいとチーム3ミニッツは考えています。

チーム3ミニッツの食農教室は、京都の福知山にあるNPO百姓塾の芦田理事長のご協力で開催されるものですが、百姓塾の元塾生もこの教室に協力してくれることになっています。

参加できるお子様の年齢は、6才から12才までの小学生です。お申込時に、お子様と親御さんのペアでお申し込み下さい。

この食農教室は、5月から9月まで毎月 回農場に出かけますが、米づくりの農業体験だけでなく、田舎の伝承文化を子どもたちに伝える目的を持っています。ですから、芋掘りやミカン狩りのような農業観光旅行気分に参加する方はご遠慮ください。

本教室のお問い合わせは

チーム3ミニッツ 電話/FAX 050-3617-4356
メール shokunou@t3m.jp

本教室のお申し込みは、法令遵守により、旅行実施会社(旅行企画実施)の農協観光西日本グリーンツーリズム支店(登録旅行業第939号)にお申し込みください。

農協観光 西日本グリーンツーリズム支店
TEL(06)6391-2760 FAX(06)6391-2817
受付時間 9:30~17:30(土 日曜 祝日休み)
〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-3-39 大広新大阪ビル3F

チーム3ミニッツ食農教室 概要

百姓塾が中心となり、「ありがとう米」や「自然体験」のカリキュラムを構成し、農業指導 管理を行います。

栽培するお米は、「こしひかり」。栽培方法は、減農薬農法です。

* 減農薬農法

風邪が流行る前に、みなさんはインフルエンザの予防注射をしますね。減農薬農法は、インフルエンザの予防注射と同じです。

田植えをした後に、回だけ農薬をまきます。この農薬は、45日間ほどで効能が無くなりますので、収穫時に残留農薬はゼロになります。農薬の効果が無くなってからの雑草は、手作業でとっていきます。

ロケーション

京都府と兵庫県の県境にある福知山市六人部(むとべ)にある「百姓塾」内にチーム3ミニッツの農場があります。

大阪から六人部まで車で2時間強。舞鶴若狭自動車道 福知山インターチェンジから15分ほどで農場に着きます。

申込締切日

2008年4月25日までに、お申し込みください。

定員(40名)

男子10名、女子10名(親子ペアで20組)です。

(応募多数の場合は、抽選になります)

参加料金 全7日間(泊旅行が2回あります)

ひとり 55,000円(税込) 大人 子供同額(新大阪発着)

(父または母親)1人+子ども1人のペアで、お申し込みください。この料金には、農業体験、バス代、旅行保険、収穫した「ありがとう米」代金などが含まれています。会期中に、お父様とお母様が入り替わり参加することができます。

田植えと稲刈り時にNHKの取材が入りますので、ご了承の上お申し込みください。

日程は、気候の関係で前後することがあります。